

## 公益財団法人 J K A 「2025 年度福祉車両補助事業」第 1 回自己評価会報告書

開催日時：2026 年 5 月 15 日（金） 16:00～17:00

出席者：満田親治(施設長)、丸山健太郎(副施設長)、花田裕子(事務長)、珍部篤(安全運転管理者)、  
折山正行(総務部)、花田和樹(デイサービスセンター長) 以上、6 名

場所：(福) 光清学園 施設長室

補助事業に係る第 1 回自己評価会を開催したので、以下の通り報告します。

### 1. 事業完了（納車）までの過程

2026 年 3 月 14 日（土）事業完了（納車日）

申請～事業完了まで、候補車両の選定に時間を要し、当初の予定より半月遅れで納車された。

### 2. 運行件数（第 1 回自己評価会時点）

- ・運行期間 2026 年 3 月 16 日～ 2026 年 5 月 15 日
- ・利用日数 54 日
- ・延べ利用者数 970 名
- ・走行距離 1621 Km

### 3. 情報発信の方法

- ・法人ホームページ「くすの木日記」へ掲載。
- ・広報誌「くすの木だより」2026 年 4 月号に掲載。施設外掲示板に掲載中。
- ・広報誌「くすの木だより」2026 年 4 月号に掲載。施設内掲示板に掲載中。

### 4. 議事

J K A 補助事業完了に伴う自己評価について

#### (a) 個別項目評価

##### (1) 事業内容 - 実施計画・体制…採点 4

入札等が順調に進み、無事導入することができました。今回車両の購入先である販売店を新たにカーメンテナンスの相談先として現在も連携し、より円滑な車両の運用と運行ができる体制にしました。導入後はこの車両を主力として使用し、円滑な運行計画となるよう送迎担当職員と申し合せ、毎日の送迎に使用しています。

##### (2) 達成目標 - 事業の実施結果…採点 3

駐停車しやすいように駐車場に白線を敷き、送迎ルートの変更を行い、送迎担当職員のシフト作成など、車両運営スタッフが中心となって準備しました。当初の予定よりも納車が半月遅れましたが、ステッカーもきれいに貼っていただき、万全の態勢で納車を迎えることができました。

2026 年 3 月 16 日に新しい車両での送迎サービスを開始しました。

##### (3) 達成目標 - 事業の成果波及…採点 5

一日のデイサービス利用者の人数が計画当初よりも増え、一日平均 30 名前後の方がご利用されています。

す。そのうち新しい車両には一日平均 18 名の方が乗車されています。

稼働時間は一日約 4 時間(朝 2 時間、夕 2 時間)、一か月の稼働日数は平均 26 日で計画に変更なく、車いすを使用されるご利用者も約 15 名と増減ないです。

車の全長が長くなったことで、車いすのリクライニング部分を少し倒した状態で乗車することができるようになりました。したがって以前よりも安楽な姿勢で乗車していただくことができ、快適性が向上しています。今後は緊急時の医療機関への通院や地域行事への参加も行っていく予定です。

目標は達成できています。

#### (4) 広報計画 - 事業の実施結果 …採点 4

・2026 年 3 月 31 日法人ホームページの「くすの木日記」に掲載。

(URL <https://www.kousei-g.net/>)

・施設内掲示板の広報誌に掲載。

・施設外掲示板の広報誌に掲載。

上記の方法により情報発信を行いました。

#### (5) 自己評価の体制 …採点 4

まずは送迎担当職員によるアンケート評価とご利用者に感想を聞き取りし、運行件数を集計しました。

その後、2026 年 5 月 15 日に第 1 回自己評価会を開催し評価を行いました。

車両の配備までの過程を振り返り、自己評価表にまとめています。

### **(b) 総合評価…採点 4**

#### (1) 事業全体についての意見・所感

希望する車両が導入できたことにより、送迎が安全に、そして快適に実施できています。今後も通所サービスの送迎はもとより、外出活動などにより高齢者の社会参加と引きこもり予防に努めます。

あわせて補助事業の PR を進めていきたいと思えます。

(ご利用者、ご家族の声)

- ・見たことない、新しい車ですね。思ったよりも室内が広くて、軽自動車のように見えない。
- ・座り心地、乗り心地が良いよ。
- ・ステッカーの色がやさしくて、デザインも可愛い。きれいに貼ってある。
- ・競輪やオートレースから補助金があったの？そんな活動もしとんじゃね。しっかり宣伝せんとね。

(職員アンケートより)

- ・運転席の視界が高く広く、狭路でも運転しやすい。安全装置も付いており、安心である
- ・車イスの方のほか、利用者 2 人乗ることができる。
- ・助手席乗る時、持ち手が付いており乗車しやすい。
- ・バックモニターがあり後方の確認がしやすい。
- ・スロープがスライド式でなく折り畳み式で使いやすい
- ・車高が高いため、踏み台を使用して乗車する必要がある。

## (2) 優れている点・課題、改善すべき点

これまで使用していた車両は初度登録から13年経過した車両であり、走行距離も11万5000kmを超えています。今回JKA補助事業により導入した車両は騒音も少なく、安全センサー装置も付いており、運転時も安心です。また、これまでの車両より定員が1名増え、より効率的な送迎ができるようになりました。さらに車いすの背もたれを倒すことができるようになり、乗車時の快適性も向上したと感じています。課題としては、車高が高いため乗車時に踏み台を必要としますが、むしろ踏み台を使用することにより安全に乗車していただけるため、転倒のリスクが軽減しました。今後も主力車両として多目的に長く使っていきたいと思います。改善すべき点としては、施設内の補助事業担当者と車両担当が候補となる車両選定に時間を要したことが挙げられます。

## (3) その他、アピールしたい点、是非知ってもらいたい点

当事業所は、介護福祉士、教職員、看護師、歯科衛生士の実習施設になっており、近隣の小学校の施設訪問、中学校の職場体験、高校生ボランティア等を積極的に受け入れています。また敷地内の隣の建物に地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、相談支援事業を併設しており、ご高齢者、ご家族、ケアマネジャー、他事業所職員、関係事業者が多く来訪されます。さらには地域住民の方の体操場所にもなっていますので、来訪者の方が通行するだけで車両が目にとまり、補助事業のPRになっていると感じます。そして同区にある広島競輪場がリニューアルされましたので、タイミングの良いPRになっていると、そう思っています。